



# ひきよせ

## こどもおぢばがえり 2025



こどもおぢばがえり 記事4P

発行所  
天理教夕張大教会  
〒068-0029 北海道  
岩見沢市9条西6丁目21  
☎ 0126-22-1248  
FAX 0126-23-7275  
yubaridai146@gmail.com  
ホームページ  
bariten.main.jp

LINE 友達登録  
お願いします

### お知らせ

藤田文雄前会長一年祭 8月30日(土)  
 布教推進強調月間 9月1〜30日  
 (大教会にをいかけ実動15日)  
 大教会九月月次祭 15日(月祝) 9時30分  
 みちのだい育み塾 23日(火祝)  
 全教一斉にをいかけデー 28〜30日

### こどもおぢばがえりのお礼

お連れ通り下さいますおやさま  
と、皆様方のお力添え、お支えに  
より、今年の「こどもおぢばがえり」  
に大勢の少年会員、育成会員の方々  
がご参加下さいました事を、心よ  
りお礼申し上げます。皆様ありが  
とうございました。

日程はおぢばで約3日間、行き  
帰りを入れれば5日以上に及ぶこ  
どもたちの旅でした。また兵庫県、  
大阪府など関西からも参加して下  
さるお子さんがあり、北海道から  
も団の垣根を超えて、同じ地域の  
お子さんが共におぢばへ帰って下  
さいました。

団長さんはお役目として、全国  
から帰り集う各団体に、親神様の  
ご守護、少年会三つの約束、ひの  
きしんの教え、おやさまの親心と  
いった大切なお話を取り次ぐ「お  
やさまやかた講話」の講師を2日  
間、引率と並行して務められまし  
た。また過日、縦の伝道講習会に  
ご登壇された祝梅の会長さんは、

本都研究員の立場で長年講師をお  
務め下さっています。  
「こどもおぢばがえり」の始まり  
は「こどもひのきしん」と呼ばれ  
ました。おやさまやかた建設の為  
の土持ちひのきしんを、こどもた  
ちにもさせてあげたい。こどもた  
ちが将来人生に困らないように、  
おぢばで徳を積ませてやりたいと  
の二代真柱様の思いからです。  
ですから楽しい行事と織り交ぜ  
つつ、お話を聞いて、鳴り物を練  
習したり、ひのきしんに汗を流す  
事が、大切な目的です。今年は夕  
張から「わかぎ(中学生)」7名の  
お子さんが少年ひのきしん隊へと  
進んでくれています、お茶接待など  
一生懸命つとめてくれた事をとて  
も嬉しく思います。

こども達の将来の為に、これか  
ら大教会を挙げて、育成に力を  
注いで参りたいと存じます。あり  
がとうございました。

大教会長 藤田大和

## 七月月次祭の様様

7月の北海道は例年に増して暑い日が多く、クーラーをこの夏設置したり検討した家も多かったと思う。道東では40度近くにまで気温が上がリ、熱中症対策に頭を悩ませた日々が続いた。

迎えた15日、大教会の祭典日も朝から気温が上がリ、参拝場では大きな扇風機を何台も回し、渡り廊下には水分補給用の茶タンクが準備されていた。定刻9時半より、開扉献饌。祭儀式のち祭文奏上。その後、座りづとめ・十二下りのをどりが勤められた。交代の際には大教会長が水分補給をするように声を掛け、フウフウと汗を掻きながらも、勇んだおつとめが勤められた。

講話に先立って辞令が交付され、新たに青年会の部属分会委員長が3名任命され、新委員長、および所属の会長が大教会長から辞令を受け取り、拍手が沸き起こった。また、高橋悟志青年会委員長から、今年の本部青年会総会の案内があり、本部に提出するおたすけ願について説明があった。

講話には少年会団長である藤田豊役員が壇上上がり、「6月の『縦の伝道講習会』で講師を務めてくださった祝梅の会長さんのお話で、特に印象に残ったのは『教会に子

供たちの居場所と役割があること』の重要性です。居心地の悪い教会では、子供たちは楽しくありません。

子供たちが教会で心地よく過ごすには、おつとめの鳴物やひのきしんといった役割、あるいは一緒に遊んだり、美味しいおやつを食べたりする楽しみが必要です。昔、お餅をいただいたり、お下がり作りを手伝ったりした経験は、私自身にも残っています。

今、大教会長さんが積極的に子供たちに声をかけ、神殿で手伝ってもらっているのは、非常に大切なことだと感じます。友達がやっているのと、つられて一緒にやっている子もいるでしょう。そうして、ひのきしんを覚えていくのではないのでしょうか。教会で役立ったり、褒められたりする経験は、子供の心に深く残るはずですよ。

親や大人の信仰する姿は、子供に伝わると言われます。大人が信仰を喜び、楽しむ姿を見せることが大切です。おふでさきには『をやこでもふう／＼のなかもきよた（5号八）』とありますが、家族という身近な関係を通して、神様のお仕込みが表れると感じています。大人自身が自然にひのきしんをすることで、それが子供にも伝わるのではないのでしょうか。

最近、改めてひのきしんのありがたさを感じています。大教会の活動方針にも、ひのきしんが掲げられています。一度始めると『もう少し』と夢中になるものです。

ひのきしんをすればするほど、その場所が自分の場所になっていくような感覚を覚えます。かつて布教の家の広島寮にいた頃、毎日広島駅を掃除していましたが、まるで自分の庭のように感じられるようになっていきました。

ひのきしんは個人だけでなく、みんなのできるのも良い点です。人数が集まれば驚くほど作業が進み、一人でするよりもみんなでする方が気分が良いと感じます。これは人間の本能ではないでしょうか。みんなで協力して成し遂げることは、ひのきしんやおつとめにおいても大切なことです。

私もひのきしんが上手になりました。いと願っています。腰が重い時もあります。自然にひのきしんができ、親神様に届くような人は素晴らしいと思います。もし私のように自然にできない者でも、上手な人に合わせて、誘われたらやってみる。それだけでも良いのだと思います。私も、声をかけられたら喜んで参加させてもらっています。

私の教会の前会長は、食道がん

転移しているため手術はできません。昨年暮れから9回の治療を終え、現在も入院中ですが、明日には教会に戻り、また治療を受ける予定です。私は前会長が教会にいる時も病院にいる時も、毎日おさづけを取り次がせていただいています。おかげさまで、食道にあつた大きな癌は、医師が『抗がん剤が非常によく効いている』と言うほど綺麗になりました。先日カメラで確認した際も、綺麗な状態でした。

医師は『見た目だけ』と言われますが、私はたまたま抗がん剤が効いたのではなく、毎日おさづけを取り次いでお願いしているからこそ、神様が受け取ってくれていると信じています。もちろん抗がん剤を止めることはしませんが、薬の効果が続くようにもお願いしています。

教会に戻ると、前会長は美味しく、お酒も嗜み、私に助言もしてくれます。病氣中とは思えない、ありがたい姿です。鮮やかなご守護は『すつきり全快』だけを指すわけではありません。私は今、鮮やかなご守護をいただいていると感謝しています。

最近、教会の信者さんに、数週間前から、肩の痛みに悩んでいる方がいました。おさづけを取り次いで3日後、痛みがピタッとなくな

なったとご本人から直接伺い、本当にありがたいと心から感じました。おさづけのご守護は必ずあるということをお伝えしたいです。

私たちは、ようぼくとしておさづけを取り次ぎ、おつとめをする立場と役割があります。身上の方がある場所が、ようぼくがおさづけを取り次ぐ居場所となります。そこには親神様のお仕込みが表れているのかもしれない。勇気を出して、一歩踏み出したいと私も思っています。

最後に、こどもおぢばがえりのお願いです。夕張団の募集は締め切られましたが、自力でおぢばがえりすることはまだ可能です。ご家族での参加もできますし、期間が夕張団と異なっても教養先生がいらっしゃるので、ぜひ参加していただきたいです。

本部からは、全隊参加、各教会から1名でも参加という目標が掲げられています。大人の方も、期間中に帰られる方がいれば、私に教えてください。現在の予定では、大人を含め、夕張団33名、神富隊18名、新生隊15名と、近年稀に見る大勢の参加となっております。全員が無事に楽しくおぢばがえりができるよう、私も努めます」と語った。大教会長はあいさつで、「先ほどお話にあった、ひのきしん、子供

たちの育成、そしてこどもおちばがえりの大切さについては、私も深く同感しております。会長に就任して丸4年が経ち、改めて感じるのは、真面目に務めることの重要性です。『真面目にやっていたら、必ず神様が受け取ってくださる。蒔いた種が腐ることはなく、必ず芽を出す』と信じています。行っ

たひのきしんも決して無駄にはならず、必ず神様が守りくださると確信しています。今年のこともおちばがえりには、育成会員を含め60名もの子供たちが参加します。これは、各教会の会長様、奥様、そして信者の皆様の日頃から子供たちの世話や見守りをしてくださっている、その真心が表れたものです。皆様の真心が宿ったこの種を腐らせることなく、私自身目しひのきしんに励むことで、皆様の願いが叶い、大教会がさらなる栄養となつて神様から芽を出させていただけるよう務めてまいります。今年もたくさんの子供たちと育成会員の皆様がおちばに帰りますので、無事に楽しく過ごし、暑さに負けず北海道に戻ってきて、『楽しかった』と言ってもらえるよう、一生懸命お世話取りをさせていただきます」と話された。

祭典終了後には、こどもおちばがえりに向けて、帯同するスタッフ

フのミーティングが行われ、出発に向けて最終の打合せが行われていた。

### 『退職したら、もう一度 修養科に入ります。』

修養科二〇〇六期 旭都分教会 藤崎利男

出直した母との約束でした。お道を勇み心一杯で通った父母にきつと喜んでもらえる事であり、たくさんさんの思いと願いが詰まった修養科となりました。

クラスの自己紹介の時から、涙腺崩壊大号泣。どうしようもありません。デスクワークばかりの生活でなまくらになった私の足では、徒歩通学は無理に思えました。それでも、4月22日、やっと徒歩通い一日目。目の前を腰かがめて



修了式の朝(6/27) 藤崎利男氏

杖をついて歩くおじいちゃん。思わず、「がんばって下さい」とあめ玉をさしたすと「どうもすまんね」襟(えり)を見ると、神崎大教会の文字。またも涙があふれます。三十乃奥様が「利男ちゃんもがんばって歩きなはれや」と、背中を押された思い出でした。

5月に入ると拍車がかかり、「おやさまのおでまし」にも歩いて行かせてもらう事を、おやさまと約束しました。「でも雨が降ったらお休みさせて下さい」という但し書き付きで。1日2万歩：これは、本当にきつかった。おまけに全然雨が降りません。おかげで強靱な、足をお与え頂きました。

6月27日、修了の日。その日、その時間でしか会えないタイミンで、旧友夫婦がおちばがえりしてくれました。会長と共に涙ながらにおちばの説明をし、お願いごとめ、教祖殿でおさづけを取り次がせて頂きました。

旦那さんが、血液のガンで長く闘病し、思い出旅行の途中なのでした。その後のPET検査で数値が安定していると喜んで、また、おちばに帰りたいと言ってくれています。(文雄前会長さん、においがけ第1号でできましたよ)

本当に皆さんに支えて頂き、喜び一杯の修養科。ありがとうございました。

## 教会 こども会 おとまり会 報告

### 北弘分教会

7月5〜6日、おとまり会を開催しました。

息子の斗理が所属するサッカーチームの子供達3名が参加してきて、教会の子供達と合わせ6名の参加者。

内容は銭湯に入り、教会でビンゴ、ゲーム大会、映画鑑賞、翌朝のゴミ拾いです。

「斗理の家はお寺だったのか」と驚いておりました。(千葉真理)



### 幌都分教会

8月5日。月次祭前日から急遽おとまり会を開催し、5名が参加。

子ども達は弘子ばあちゃんのお誕生日を祝うため、若葉さん指導のもとダンス練習。夕づとめ、鳴物練習をした後、ライトアップされた参拝場で、孫達が息の合ったダンスを魅せた。その後、花火を楽しみ就寝。翌朝は公園のゴミ拾いをして月次祭をつとめた。祭典後、友人家族も集まり、かき氷やカレーを食べ、各々おちばがえりや旅行の報告で盛り上がった。(藤田豊)



### 笑顔と感謝あふれる 子どもおぢばがえり

7月27日から30日にかけて、夕張団夕張隊は、少年会員17名、育成会員15名の総勢32名で、子どもおぢばがえりに参加した。今年度は新生生隊（少年会員9名、育成会員10名、育成会員8名）も同期間におぢばに帰参しており、詰所も大賑わいし、共に夏のおぢばでの貴重な時間を過ごした。夕張隊は27日、夕張詰所に集合。ワクワクと緊張の入り混じる表情で詰所に集まった子どもたちは、16時からのオリエンテーションで自己紹介をした。翌28日には本部神殿での「朝のおつとめ」に参加し、「おつとめまなび教室」では、真剣に鳴物の練習をした。



神富隊 (7/26~29)

は「アスレチックボックス」で元気に身体を動かし、詰所に戻ってからはプール遊びを満喫したり、講堂での映画鑑賞を楽しむ子どもたちもいた。夕づとめの後、日暮れを待ち、新生生隊・神富隊との合同行事として花火を実施。また、差し入れられた冷えたスイカが配られ、ひときり夏を感じるひとときとなった。29日は「チャレンジパーク」「アチコチランド」「忍者村」を巡り水鉄砲でびしょ濡れになり、「みちのこ作品展」も鑑賞。帰所し冷やしラーメンでほっと一息。その後には待ちに待った、本通りでの自由時間。食べ歩きをしながら、男子はくじ引きやおもちゃ探しに夢中になり、女子はじつくりとお土産選びに時間をかけていた。夕方



新生生隊 (7/26~29)

からはこちらも大人気の岡大教会詰所行事に参加。ラーメン、唐揚げ、チャーハンなど出来立て熱々の屋台とゲームを堪能した。最終日の30日は、朝から感謝を込めて詰所の掃除・片付けのひのきしん。その後、詰所のスタッフ、おぢばで解散する友達と別れ、一路「キッザニア甲子園」へ。憧れの職業に挑戦しながら、楽しく体験し、給料のキッゾを得た。たくさんの笑顔と達成感を胸に、神戸空港から夕方の便で北海道へと戻った。こうして今年も、たくさんの「たのしい」と「ありがたい」が詰まった子どもおぢばがえりが無事に幕を閉じた。来年は教祖百四十年祭の年。多くの方たちと共にまたアツイおぢばを楽しみたい。

(団長・藤田)

### 婦人会 みちのだい育み塾

7月22日（火）、夕張大教会にてみちのだい育み塾を開催し、対象者3名、その他婦人会員9名、少年会員3名、男性1名の合計16名にご参加いただきました。

今回は、教祖伝逸話編を通じて、尊きひながたをお残し下さった深い親心に感謝するとともに、日常の中でわずかでもひながたを通ることの大切さを改めて学びました。またゲームコーナーでは童心にかえって大いに盛り上がり、フリートークタイムでは、まさに真つ只中である子育ての話題で終始持ち切り。参加者お互いの近況などを伝え合い、リフレッシュムードで充実した時間を過ごし、昼食には

### にいがけ実動について

#### ◇活動報告

日時：7月19日 10時～15時

場所：夕張大教会

参加人数：3名

内容：神名流し（大教会前交差点）、戸別訪問（6軒）

#### ◆次回以降実施予定

8月23日 10時～15時

集合場所：幌部分教会

9月30日 10時～15時

集合場所：夕張大教会

### 庶務部 7月

▽少年ひのきしん隊 7・28～8・1

#### ◆北海道

和泉 結夢 (善進道)

大橋 蘭 (由仁)

山本 美月 (善進道)

渡部 秀亮 (善進道)

◆兵庫

大久保美心 (善進道)

西浦明音 (善進道)

西田 望 (善進道)

▽をびや 4件

▽詰所教養掛

7月前半 富山真理子 (栗山)

後半 千葉 祐生 (大籠)

8月 富山 知一 (栗山)

具材たっぷりの冷やしラーメンで、ランチを堪能しました。



### 大教会日誌抄 7月

- 1日 たすけ推進会議
- 4日 組例会
- 15日 月次祭
- 20日 信者宅50日祭
- 21日 子ども食堂
- 22日 婦人会みちのだい育み塾
- 23日 会長、おぢばへ
- 25日 会長夫人、おぢばへ
- 26日 本部月次祭衆人奉仕
- 27日 夕張団子どもおぢばがえり
- 30日 会長夫人、帰会
- 31日 会長、帰会